



大和証券グループ

平成 23 年 2 月 25 日

各 位

株 式 会 社 南 都 銀 行
世 界 銀 行
株 式 会 社 大 和 証 券 グ ル ー プ 本 社

南都銀行が「グリーンボンド」を購入 ～債券投資を通じて地球温暖化対策に貢献する～

このたび、株式会社南都銀行（本社：奈良県奈良市、頭取：植野康夫、以下「南都銀行」）は、世界銀行（国際復興開発銀行）が新規に発行する「グリーンボンド」を購入し、2月25日に払込が完了しますので、その概要についてお知らせいたします。

グリーンボンドとは、世界銀行が資金拠出を行っている事業のうち、地球温暖化の要因を取り除くこと、あるいは地球温暖化により引き起こされる諸問題に対処することを目的に開発途上国で実施される事業を支援するために発行される債券です。グリーンボンドで調達した資金は、世界銀行の環境専門家が一定の基準に基づいて選定した地球温暖化対策事業、具体的には、代替エネルギーの導入、温室効果ガスの排出を軽減する新技術の開発支援、森林再生、河川流域管理、洪水対策などの事業を支援するために活用されます。世界銀行は、これまで20億米ドル相当のグリーンボンドをユーロ市場において発行してきました。

今回のグリーンボンドについては、発行総額 2,000 万米ドル全額を南都銀行が購入しております。引受けディーラーには、大和証券グループのホールセール証券会社である大和証券キャピタル・マーケット株式会社が指名され、発行のアレンジを担当しました。

南都銀行では、中期経営計画の基本方針に「CSRの推進」を掲げ、「地域活性化につながる社会貢献活動や環境保全活動に継続して取り組むことにより、企業の社会的責任を果たす。」こととし、地域における環境保全活動等に積極的に取り組んでいるほか、本業においても環境配慮型商品やサービスの提供を通じ、地域の皆さまによる環境保全活動を金融面からサポートしています。

南都銀行 証券国際部長の西本英明氏は次のように述べています。

「当行は平成14年の「ISO14001」の認証取得以降、頭取のリーダーシップのもと環境保全活動に取り組んでまいりました。近年は、銀行業界では初となる林野庁の「木づかい運動」への参加や、吉野の森と林業を守る「Yoshino Heartプロジェクト」を積極的に応援・支援しています。

今般、私共、投資セクションにおいても、金融市場を通じて全世界的な環境問題である地球温暖化対策に少しでもお役に立ちたいと考え、グリーンボンドへの投資を決定しました。」



世界銀行 財務局駐日代表の有馬良行氏は次のように述べています。

「世界銀行の使命は、世界中の人々の生活水準向上と持続的発展であり、その中でも地球温暖化問題は極めて重要な課題のひとつです。この解決には政府の資金だけではなく、民間資本市場からの資金も不可欠であり、世界銀行が発行するグリーンボンドは各国の投資家から高い評価を受けています。今回、新たに日本の有力地方銀行のひとつである南都銀行様がグリーンボンドにご投資頂いたことに大変感謝しております。日本の機関投資家のグリーンボンド投資としては実に11件目となりました。これまでリターンやパフォーマンスのみが重視されがちであった金融取引において、投資資金の使途とその社会貢献度も投資の重要な尺度となりはじめています。世界銀行は日本の皆様からお預かりした資金を責任を持って活用し、金利だけではなくグローバルな社会貢献という付加価値と共に返済すべく努力して参りたいと思います。日本の投資家の皆様の継続的なご支援に感謝致します。」

また、大和証券株式会社 常務取締役の中村比呂志氏は次のように述べています。

「地球温暖化のような社会的課題を解決するためには莫大な資金が必要であり、この資金を国や政府開発援助だけに頼るには限りがあります。不足する資金を民間市場から効率的に集めることは、我々証券会社の役割です。

このたび、環境問題への意識が高い南都銀行様より、投資を通じて社会へ貢献するというインパクト・インベストメントにご賛同頂きました。結果、世界銀行が発行するグリーンボンドへご投資頂いたことを非常に喜ばしく感じております。

大和証券グループでは、民間資金を社会的課題の解決のために活用できるような仕組みを考え、国内に社会貢献投資の動きを拡大させるべく努めて参ります。」

発行概要

発行体	世界銀行（国際復興開発銀行：IBRD）
起債通貨	米ドル
発行総額	2,000 万米ドル
受渡日	2011 年 2 月 25 日
償還日	2016 年 2 月 25 日
各債券の金額	100 万米ドル
主幹事	大和証券キャピタル・マーケッツ



大和証券グループ

■ 南都銀行について

南都銀行は、奈良県奈良市に本店を置く、1934年創立の伝統ある地方銀行です。奈良県および大阪府、兵庫県、京都府、和歌山県、三重県の6府県を地元営業地域として営業基盤を拡大しつつ、長年にわたり地域に密着し経済活動を支援しています。主要マーケットである奈良県におけるシェアは、預金・貸出金ともに5割弱と圧倒的なシェアを誇っています。

平成26年の創立80周年に向けた長期ビジョン「さらなる企業価値の向上をめざして～地域とともに成長する銀行～」の実現に向け、現在は第1ステージである中期経営計画「モアバリュー “NANTO”」に取り組んでいます。

■ 世界銀行について

世界銀行（通称 IBRD : International Bank for Reconstruction and Development）は、1945年（1944年に創設協定を起草）に設立された国際開発金融機関で、現在187の加盟国が出資し運営しています。日本は1952年にIBRDに加盟しました。IBRDは加盟国への貸出・保証に加え、リスク管理サービスおよび分析・助言サービスも提供し、持続可能な経済成長と環境保全を両立させるべく、世界の貧困を削減することを目指しています。最終的な目標は、貧困を撲滅し世界中の人々の生活水準を改善することです。世界銀行は60年余に亘り、国際資本市場で債券を継続的に発行して参りました。この長い歴史の中で、1989年に史上初のグローバル債を発行する等様々な先進的な金融取引を実現し、最も著名で有力な発行体の一つとして市場から評価されています。

世銀債の詳細につきましては以下をご覧ください: www.seginsai.org

■ 大和証券グループについて

大和証券グループは、1902年創業の日本を代表する独立系総合証券グループです。グローバルなネットワークにより、世界中の顧客に対し資産形成や企業活動の支援といった金融サービスを提供し、社会及び経済の発展に貢献しています。主要な事業は、エクイティ、債券、デリバティブおよびその他金融商品の開発・提供、エクイティ・債券等の引受業務、M&Aをはじめとするアドバイザー業務に加え、アセットマネジメント業務やプリンシパル投資です。

大和証券グループの営業拠点は、日本をはじめ、米国、欧州、およびアジア・オセアニア地域に広がっています。世界中に約16,000人の従業員を抱え、顧客からの預り資産残高は約42兆円、グループのアセットマネジメント会社2社の運用資産残高は合計で約13兆円です。リテール事業を行う大和証券では120の店舗網、約338万の顧客口座数を有し、ホールセール事業を行う大和証券キャピタル・マーケットでは21の国と地域に30の拠点を有しています。（数字は全て2010年9月末現在）

以上